

令和6年2月14日

報道機関 各位

「被爆の実相の伝承」のオンライン化・デジタル化事業

成果報告会 — 被爆前の日常を想像する

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）では、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の委託を受けて、2021年より「被爆の実相の伝承」のオンライン化・デジタル化事業に取り組んできました。下記の通り、3年間の取り組みを振り返るトークイベントを開催します。ご多忙とは存じますが、取材をよろしくお願ひします。

記

■日時：2024年2月18日（日）14:00～16:00

■会場：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 交流ラウンジ

■参加：無料・申込不要

オンライン参加（ZOOM）申込：<https://forms.gle/EbfJKBz5Q4qtmx4a8>

■プログラム

事業概要説明&トークセッションの進行：林田 光弘（RECNA 特任研究員）

14:15-15:00 トークセッション①

「被爆前後の航空写真を使用したデジタルマップの活用」

登壇：全 炳徳（情報データ科学部教授 / RECNA 兼務教員）

15:10-15:55 トークセッション②

「被爆前の日常を伝えるデジタル教材づくり」

登壇：宮崎 園子（フリーランスライター：広島在住）

佐々木 亮（フリーランスライター：福岡在住）

以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）[担当] 林田

メール：hayashida-m@nagasaki-u.ac.jp